



常緑樹の葉の入れ替わりの時期で園内でもあちこちに落ち葉が増えています。山を見渡すとモコモコとした淡黄色のツブラジイ（写真1左）の花序や若葉がよく目立ちます。野鳥ではツドリやカッコウ、クロツグミ、オオルリ、キビタキ等の飛来が確認されましたが、ホトトギスはまだ来ていないようです。

★ 開花情報

エゴノキ エゴノキ科エゴノキ属（写真1右）

山地に普通に生える落葉高木で5月頃、白い花を下向きにたくさん咲かせます。果実は8~9月に熟し、脂肪が多い種子はヤマガラの好物ですが、人間の味覚では果皮の苦みが強く、のどを刺激してえぐいたためエゴノキの名がついたといわれています。ベニバナエゴノキやアカバナエゴノキと呼ばれる赤い花の園芸品種があります。

場所：山林内、園路沿い各所

マユミ（真弓）ニシキギ科ニシキギ属（写真2左）

マユミの名は、緻密でよくしなる材で弓を作っていたことから名づけられ、こけしの原料としても用いられます。自生地は丘陵から山地の林縁で、5~6月に葉より下の芽鱗痕のわきから伸びた花序に直径1cm程の小さな花を咲かせます。同じ仲間のコマユミ（写真2右）はニシキギの枝に板状の翼ができない品種です。

場所：さくら通り

バイカウツギ（梅花空木）アジサイ科バイカウツギ属（写真3左上）

日本固有種の落葉低木で山林内や林縁に自生します。この時期に枝先から花序を出し、芳香のある白い花を咲かせます。この花をウメに見立てて名づけられました。葉裏に毛が多いものをケバイカウツギ、花柱に毛があるものをシコクウツギといいます。

場所：わんこ広場横

カンボク（肝木）レンブクソウ科ガマズミ属（写真3右上）

山林内に自生する落葉小高木で、よく分枝して茂り、株立ちになるものが多いです。5~6月、枝先に花序を出し、中心部に多数の小さな両性花を、外側に直径3cmほどの白い装飾花をつけます。装飾花はふつう5裂して平らに開きます。葉は対生し、3裂した葉を持ちます。この特徴はカエデ属以外では珍しく比較的に見分けやすい木です。花がすべて装飾花になった品種をテマリカンボクといい、園芸店等で見かけることがあります。

場所：わんこ広場横

この他、草本ではヒナギキョウ（写真3左下）やヒメジョオンが咲きはじめました。またオキナグサ（写真3右下）は果実が綿毛になり風に揺れています。

★園内見頃状況まとめ

咲き始め	エゴノキ (写真1), カンボク (写真3) カルミア, ヤマボウシ, コガクウツギ, シャリンバイ, ガマズミ, サツキツツジ, ヒナギキョウ (写真3), ヒメジョオン 他
見頃	ツブラジイ (写真1), マユミ (写真2), コマユミ (写真2), バイカウツギ (写真3), スダジイ, タニウツギ, ジャケツイバラ, トチノキ, ツクバネ, ハクウンボク, ユリノキ, セイヨウシャクナゲ, オオデマリ, タカノツメ, コツクバネウツギ, ニワゼキショウ 他

※最も早い開花情報発信はツイッターになります

アカウント名 @Ryokkacenter

URL <https://twitter.com/ryokkacenter>

ぜひご利用ください。

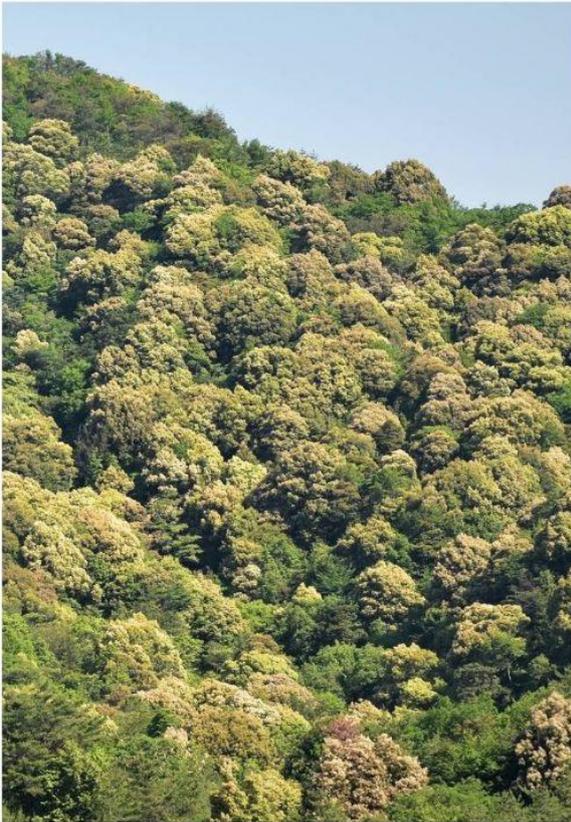


写真1左 ツブラジイ (三本木山) H29.5.19



写真1右 エゴノキ (第2駐車場向かい) H29.5.19



写真2左 マユミ (さくら通り) H29.5.18



写真2右 コマユミ (さくら通り) H29.5.18



写真3左上 バイカウツギ (わんご広場横) H29.5.18



写真3右上 カンボク (わんご広場横) H29.5.18



写真3左下 ヒナギキョウ (管理事務所前) H29.5.18



写真3右下 オキナグサ (管理事務所前) H29.5.18